

平成29年度第2次募集  
新潟大学大学院自然科学研究科博士前期課程入学者選抜試験問題  
一般入試

環境科学  
災害環境科学  
E6

専門科目

注意事項

- 1 この問題冊子は、試験開始の合図があるまで開いてはならない。
- 2 問題冊子は、表紙を含めて全部で2ページある。
- 3 解答は、すべて解答用紙の指定された箇所に記入すること。
- 4 受験番号は、各解答用紙の指定された箇所に必ず記入すること。  
ただし、解答用紙がたりない場合は、裏面を使用すること。
- 5 解答時間は、120分である。
- 6 下書きは、問題冊子の余白を使用すること。

平成29年度第2次募集

新潟大学大学院自然科学研究科博士前期課程入学者選抜試験問題

一般入試

環境科学

災害環境科学

E6

以下から2題を選択して解答せよ。

なお、選択した問題番号を解答用紙の問題番号欄に記入すること。

I 河川などの開水路の流れは、等流、不等流、不定流の3つに大きく区分される。これらの流れの種類について、下記のすべての用語を必ず用いて600字程度で説明せよ。ただし、同じ用語を複数回使用してもよい。

用語：時間的加速度、場所的加速度、水面勾配、底面せん断力、重力の流下方向成分

II 様々な形態となる河川の流路の区分において頻用される「セグメント」について、下記のすべての用語を必ず用いて600字程度で説明せよ。ただし、同じ用語を複数回使用してもよい。

用語：山間部、扇状地、谷底平野、自然堤防帯、デルタ、河床材料の粒径、河床勾配、蛇行、河岸浸食、砂州、砂堆

III 近年の地震に伴う地盤災害の特徴について、下記のすべての用語を必ず用いて600字程度で説明せよ。ただし、同じ用語を複数回使用してもよい。

用語：2011年東北地方太平洋沖地震、液状化、埋立地、戸建て住宅、ライフライン、社会基盤施設、地盤改良、1964年新潟地震、切り盛り、宅地造成地、自然地盤、地すべり、盛土